

続発する重大災害、断固抗議する!



「はがねの会」
神戸市兵庫区新開地 1-8-18
プリオーレ神戸 504号
電話 090-6326-9799
メール haganetuusin@yahoo.co.jp

神鋼は、労働者の安全保護義務を怠るな!

激発する労働災害

今年の5月31日付けで人事労政部長名による「労働災害防止の徹底強化要請」の文書が全社に向けて発せられました。
その中で「五月末時点で、休業7件、不休2件の9件を数え、これは昨年同時期の約2倍の発生状況となっております」と警告を発しています。

しかしながら、その後も災害は増え続け、9月末時点で、休業14件、不休4件となっています。この他に統計外で死亡1件(6月30日の神戸製鉄所南岸壁からの神鋼物流従業員の高所転落事故、休業3件が発生しています。まさに異常事態です。

| 今年度前半(4月~9月)労災発生 | | | |
|------------------|----|----|----|
| 事業所 | 休業 | 不休 | 計 |
| 加古川 | 8 | 4 | 12 |
| 神戸 | 3 | 0 | 3 |
| 高砂 | 1 | 0 | 1 |
| 真岡 | 2 | 0 | 2 |
| 他 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 14 | 4 | 18 |
| 昨年度前半 | 6 | 7 | 13 |
| 今年度統計外 | ①4 | 0 | 4 |

*0数字は死亡で内数



神鋼でも重大災害続発

神戸製鉄所でも重大事故が連続して発生しています。

○5月24日、神鋼物流の20歳の青年が転入作業中の貨車に挟まれて右足甲挫滅、左股関節脱臼。

○6月24日、7線材工場で26歳の青年がシリンドラ交換作業で右手親指負傷。

○9月9日、3分塊工場3クリンケンで38年8ヶ月の作業経験のある57歳のベテランが熱間ピレットの位置修正作業中に転倒し、左足すね部に800度強のピレットが接触し、3度の火傷を負う。



3分塊工場の事故原因は?

この9月の事故に対して、「今回は安全の基本が守られていない」という中で、災害であり、このことをどのように理解したら良いかについての議論が必要だと考えています。「自分の体は自分で守る」とか「赤旗取り扱い規定」とか「指差呼称」とか「相互注意」とかといった安全活動の背景が全部まとめて無視されています」と会社は警告しました(線材条鋼圧延部長)。

今回の事故に遭ったTさんは「安全活動の背景を全部まとめて無視した」と、せいであったのでしょうか?

いま、製鉄所ではますます生産性向上が迫られています。「1トンでも多くの生産」という合言葉の下で、分塊工場でもピレット抽出間隔がギリギリまで縮められ、ピレットが次々と流れてきます。工程のチョコ停があると管理職からコンピュータのデータで徹底した追及の矢が飛んできます。

このような雰囲気の中で、今回Tさんが行ったようなピレットの位置ずれの修正作業は当たり前に行われていました。このことは「これまでと同様の作業が行われていた」と会社も認めています。厳しい生産増の指令の下では誰でもやらざるを得ない作業でした。



会社の安全対策はどこが問題か?

会社からは今回のような場合はどのように対処すべきか、事故から1月以上たつ今日現在も、その指針ができていません。出てきたのは、神戸製鉄所長と神戸安全衛生協力会長の連名の『指差呼称』と『相互注意』で下期こそ無災害の達成を!という呼びかけです。相変わらず、個人に最大限の注意を呼びかける内容です。

そもそも人間はどんなに注意しても、うっかりや良かれと思つてのがんばりすぎやミスを犯す存在です。そのような人間に完璧を求める安全対策は、もはや安全対策とはいえないばかりか、本当の対策から目をそらすものとなります。

どうすれば労働災害は防げるか?

職場新聞はがねの安全提案

安全の確保なくして生産なし

危険な作業時は生産ストップせよ

誰もが認める危険な作業をするときには生産をストップして行こう。また、そういう事態になったときには一人作業はやめて、複数で対処する。そういうやりかたでこそ「自分の体は自分で守る」ことができるのです。わたしたちはそういう安全対策を強く要求します。設備を止めて対処すると一見、生産性が悪くなると思われがちですが、事故が発生して、工程が長く止まる、事故処理に多大な人手が掛かることを考えると事故こそ最大の生産性の阻害要因です。

設備の修理・改善を!

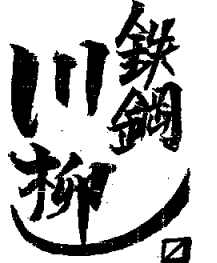
また、今回の事故をよく検討してみると、クリンケン設備の爪が外れたことがきっかけです。爪がなぜ外れたのか、どうすれば外れないようにできるのか、真つ先にそのような設備の問題をとりあげて改善に取り組むべきではないでしょうか?

正しい設備点検を!

神戸製鉄所の設備は老朽化してきており、今回のような事故が起こる恐れは高まっています。急いで、危険箇所の一斉点検を行うとともに、近年の人減らしで手薄になってきている設備保全部門の強化を図ることも緊急の課題です。

いまこそ労働組合の出番

会社の安全対策は生産性との見合いを考慮するために、本物の安全対策からはずれる可能性がいつも付きまといまいます。そういうときに労働組合の出番です。働くものの安全を第一に考えて、自ら職場を点検し、労働者の本音を聞き出し、それを基にして働き方や設備



○チョコ停のレスシマが事故を呼び

○作業標準 いいわけ草がペンペンと

○一人作業「相互注意」の相手居らず

「はがねの会」会員募集中です!

会の事務所

○住所; 神戸市兵庫区新開地 1-8-18
プリオーレ神戸 504号
「はがねの会」

○電話; 090-6326-9799

○メール; haganetuusin@yahoo.co.jp

労働者を200万円以下に抑える
内総額 244兆円

「はがねの会」にも投稿を

神鋼で働いている関連会社を含めた全ての労働者の皆さん、職場の危険と思われる作業や設備を見えたら「はがねの会」にも教えてください。それをもとにわたしたちも会社や労働組合に申し入れる活動を強めていきたいと思つています。

是正すべきは... 白川ただし

改善を提案する。労災が激発している今こそそういう活動が強く求められています。労使協議の会議室で会社の安全対策を聞いて質問して下さるやり方を変えるべき時ではないでしょうか?労働組合の役割発揮を期待します。